

基礎研究医養成活性化プログラム 取組の概要と推進委員会からの主なコメント

代 表 校 名 (連 携 校 名)	金沢大学 (秋田大学、金沢医科大学) 計 3 大学
事 業 名	医歯工法連携による次代の法医学者および地域関連人材の養成
事 業 責 任 者	理事 (総括・大学改革・附属病院担当)・大竹 茂樹
事 業 の 概 要	
<p>本事業は、医歯工法および地域との連携により、児童虐待や薬物中毒、未知の感染症など臨床分野への応用を可能とする「臨床法医学」の資質を備えた基礎研究医及び関連職種の人材を養成するものである。具体的には、令和 2 年に採択された文科省「先端研究基盤共用促進事業」と連携し、石川県警察本部科学捜査研究所および関連施設がもつ児童虐待や薬物中毒等に関連する情報を教育用にデータベース化し、参加大学教員および学外連携機関職員がそれらを活用することで実践的な生体鑑定模擬演習 (D3) を含む法医学専門教育を行う。さらに臨床統計や関連法規、歯科法医学、検案実習などからなる法医学基礎科目 (D1-D2)、卓越大学院、工学・分析系とも連携した法医学先端研究科目 (D3-D4) をカリキュラムに加えることで、より先駆的な「臨床法医学」を実践できる人材を養成する。本プログラムの成果は北陸地区のみならず、東北地区を含む他府県への波及が可能であると考えられる。</p>	
推進委員会からの主なコメント ○ : 優れた点等、● : 改善を要する点等	
<p>○生体・解剖鑑定データを集約し、それらを法医学教育に活用することで、児童虐待や薬物中毒に強い臨床法医学者を養成する新たな大学院教育プログラムを構築するもので、また、工学や法学とも連携することで、より先駆的な「臨床法医学」を実践する人材の育成が期待できる。児童虐待、薬物中毒、未知の感染症など臨床分野への応用が期待される。</p> <p>○連携大学、協力大学の特徴活かした教育プログラムが、学位プログラム、インテンシブコースにてそれぞれ設定されている。すでに採択されている先端研究基盤共用促進事業や卓越大学院プログラムとの連携も期待できる。</p> <p>○養成すべき人材像が明確であり医歯工法および地域連携型の効果的な教育が見込まれる。</p> <p>○連携大学間の効果的な運営体制および役割分担が示されている。自治体等との連携体制についても明確に記載されている。シンポジウム、関連学会でのワークショップ、ホームページの活用など具体的な情報発信の取り組みが計画されている。特任助教 2 名、児童相談所等の地域法医ポスト 2 名を確保する計画は評価できる。</p> <p>●約 15 機関という性質を異にした多機関のコンソーシアムであり、機器開発など、工学系との連携を念頭に置いた構想であることから、実際に事業を展開するには、さらに詳細な整理が必要と考える。</p> <p>●遠隔地の連携校と情報のやり取りをする際にはセキュリティを強化するなど個人情報の適切な管理に努めるとともに、オンラインだけでなく対面での取組を早期に検討すること。</p> <p>●児童虐待や薬物中毒等に関連する情報を教育用にデータベース化する計画について、十分に検討されていない。</p> <p>●データベースの共同作成・利用等、選定大学間での連携についても検討すること。</p>	